

DMG森精機株式会社

2023年度第1四半期 (1-3月)決算説明資料

2023年5月10日

1.2023年度第1四半期(1-3月)決算概要

2.事業環境

3.2023年通期業績見通し

4.グローバル・マーケティング

5.MX（マシニング・トランスフォーメーション）の進展

6.ESG / CSR進捗

2023年度 第1四半期（1-3月）決算概要

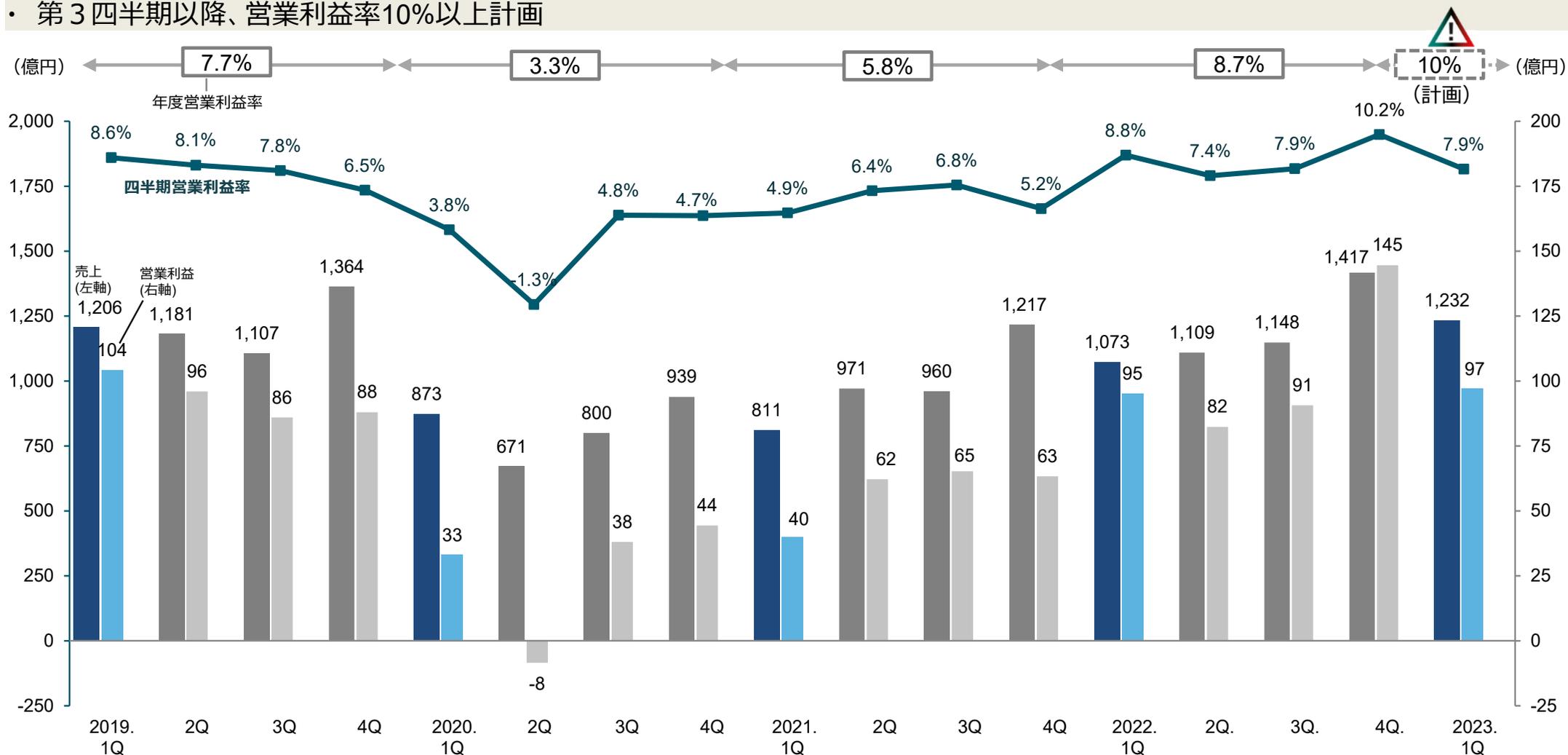
DMG MORI

- ✓ 中期経営計画2025達成に向けて順調なスタート
- ✓ 連結受注 1,453億円（前年同期 四半期ピーク受注1,501億円比：3.2%減）
- ✓ 受注単価56.1百万円(2022年度平均: 49.8百万円) MX（工程集約、自動化、DX、GX）が寄与
- ✓ 機械本体受注残高 2,690億円（前年度末 2,540億円）

(億円)	2019年 1Q	2020年 1Q	2021年 1Q	2022年 1Q	2023年 1Q	増減 (%)
連結受注	1,191	783	1,014	1,501	1,453	-3.2
連結受注残	2,090	1,370	1,240	2,030	2,690	
売上収益	1,206	873	811	1,073	1,232	+14.9
営業利益	104	33	40	95	97	+2.6
営業利益率	8.6%	3.8%	4.9%	8.8%	7.9%	
当期利益	62	1	18	63	63	+0.4
償却費(リース含む)	55	59	55	56	62	
設備投資額	31	31	44	102	111	
USD/JPY	110.2	108.9	105.9	116.2	132.4	
EUR/JPY	125.2	120.1	127.7	130.4	142.1	

四半期業績推移

- ・ 社員給与改定（日本単体社員は2022年7月実施。年度換算従来比 24%増）による人件費増を吸収して前年同期比営業増益確保
- ・ 第3四半期以降、営業利益率10%以上計画

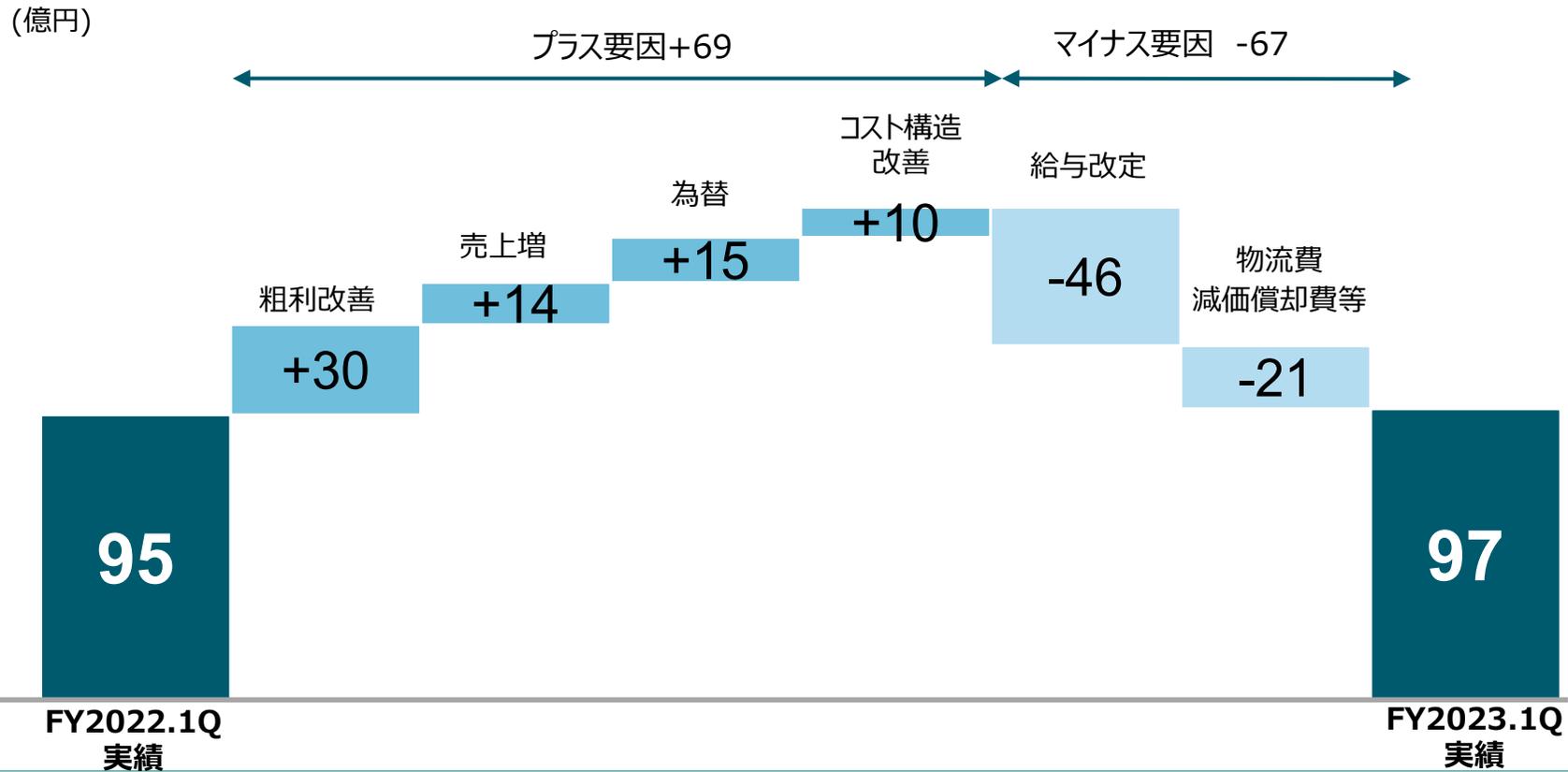


営業利益増減分析 2022年度第1四半期 vs 2023年度第1四半期

- MXによる値引率低減で粗利益の改善継続
- 部材価格の上昇は値上げで吸収

(億円)	FY2022.1Q	FY2023.1Q	増減
売上収益	1,073	1,232	+160

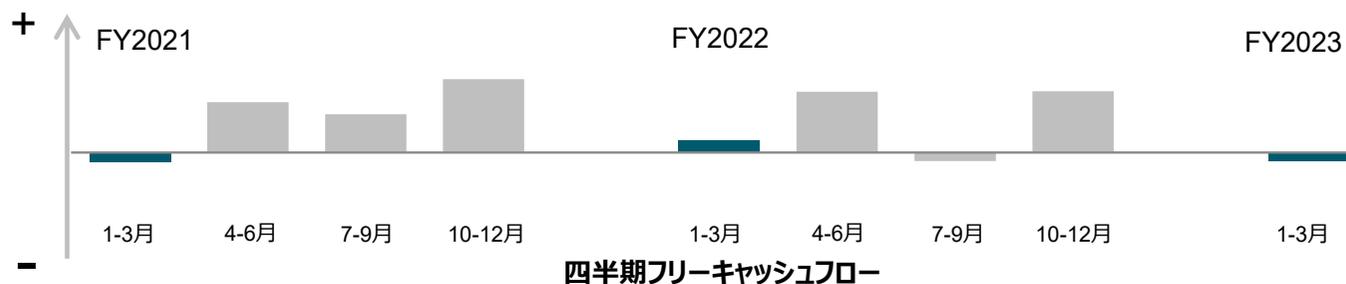
為替レート:	USD/円	FY2022.1Q	116.2	FY2023.1Q	132.4
	EUR/円		130.4		142.1



キャッシュ・フロー

- 運転資本は17億円増に留まる。第2四半期以降の売上増に備えて棚卸資産増加。一方、売上債権の早期回収、前受金増が寄与
- 中期経営計画2025達成に向けて計画通りに投資継続

(億円)	2021					2022					2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q		FY (計画)
営業キャッシュフロー	26	134	106	231	497	125	236	101	235	697	93		
税引前四半期利益	31	54	56	55	196	89	74	80	122	365	85		
償却費	55	54	53	57	219	56	60	58	66	240	62		
運転資本増減	-35	53	23	65	106	-18	99	-9	51	123	-17		
その他	-25	-27	-27	55	-24	-2	4	-29	-3	-31	-37		
投資キャッシュフロー	-45	-34	-30	-85	-194	-101	-115	-118	-115	-449	-111		
フリーキャッシュフロー	-18	100	76	146	304	24	121	-17	121	249	-18		300

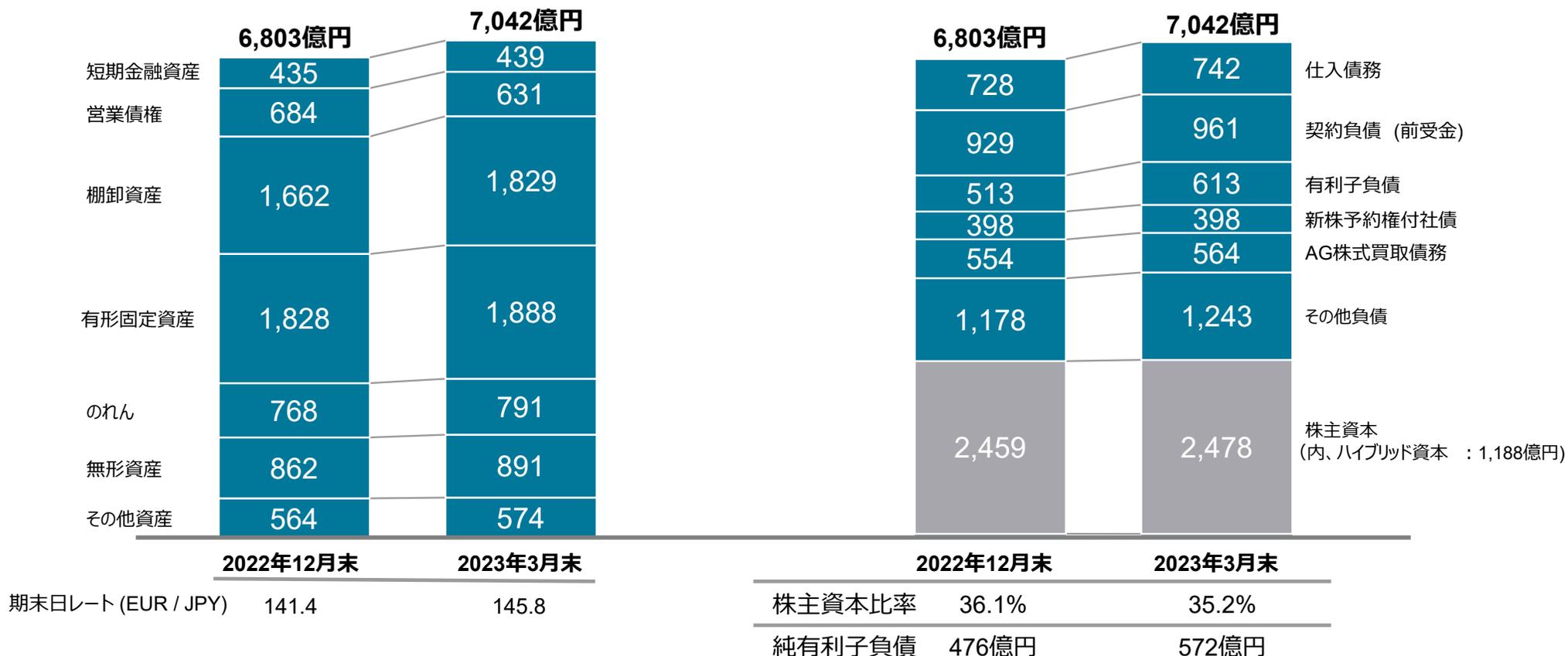


貸借対照表サマリー

- 為替の影響額、約140億円
- 受注増、売上増に伴い総資産は増加。一方、Net D/E レシオは低位維持

資産の部

負債・資本の部



3月末 Net D/Eレシオ 0.23 低位維持 (2022年12月末 0.19)

1.2023年度第1四半期(1-3月)決算概要

2.事業環境

3.2023年通期業績見通し

4.グローバル・マーケティング

5.MX（マシニング・トランスフォーメーション）の進展

6.ESG / CSR進捗

連結受注推移

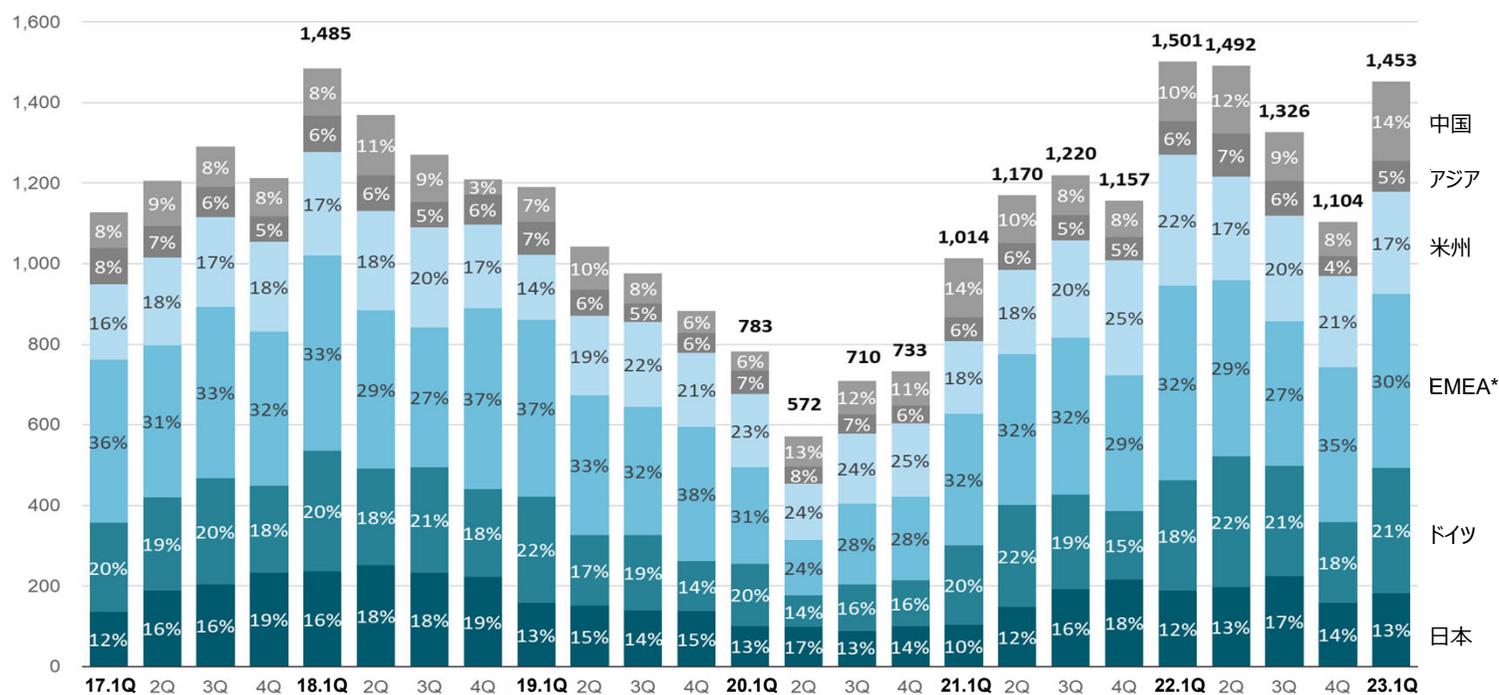
- 第1四半期受注は、前年同期比3%減、前四半期比（2022年10-12月期）32%増
- MXによる機械単価の上昇。サービス・パーツなど収益安定部門も前年同期比24%増と寄与

(億円)

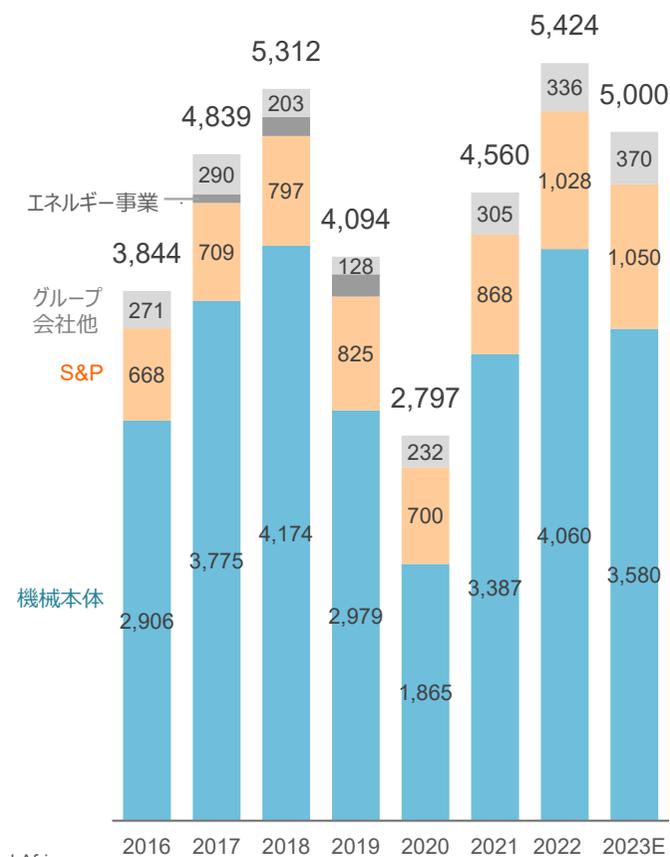
年度

四半期

(億円)



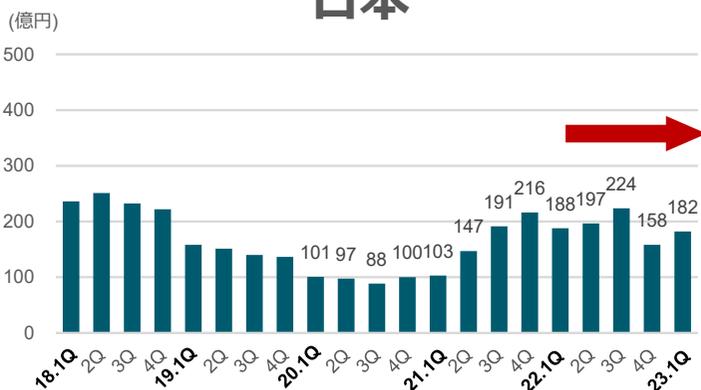
*Europe excl. Germany, the Middle East and Africa



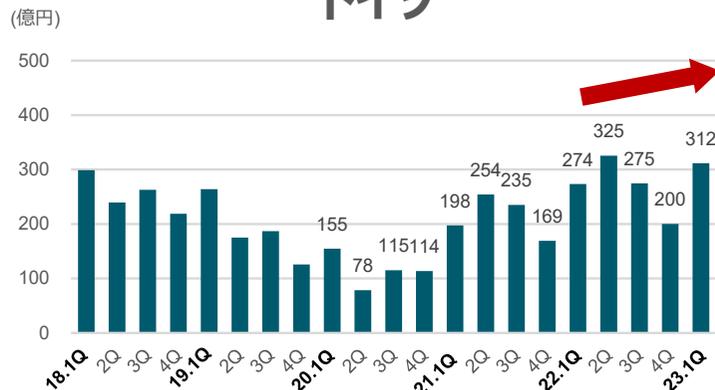
地域別受注推移

- 前四半期比、欧州、中国、アジア市場の増加が顕著。日本も緩やかに回復
- 米州は大型のプロジェクトを含め受注の引き合いは堅調

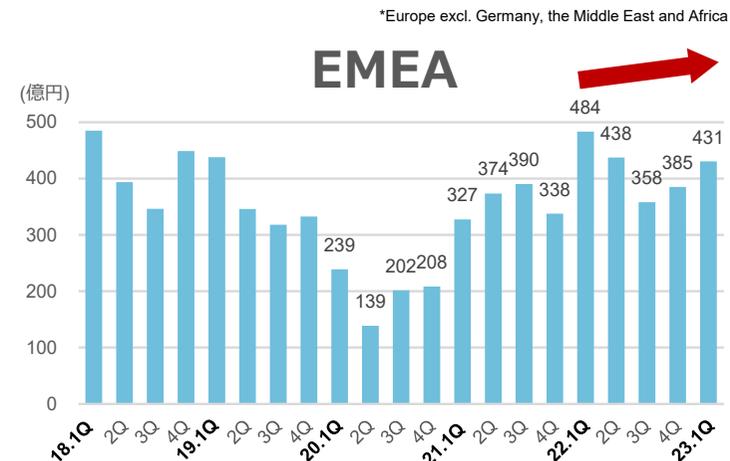
日本



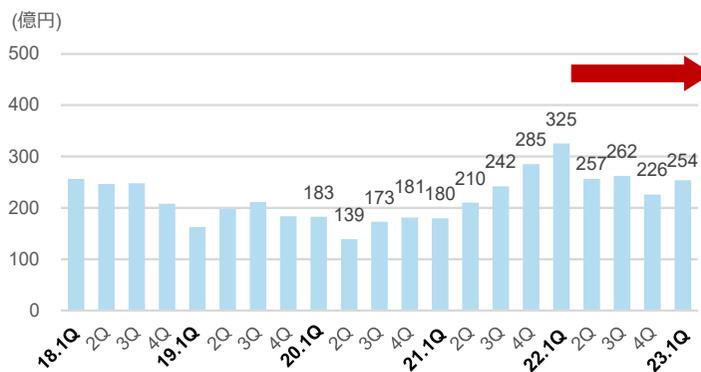
ドイツ



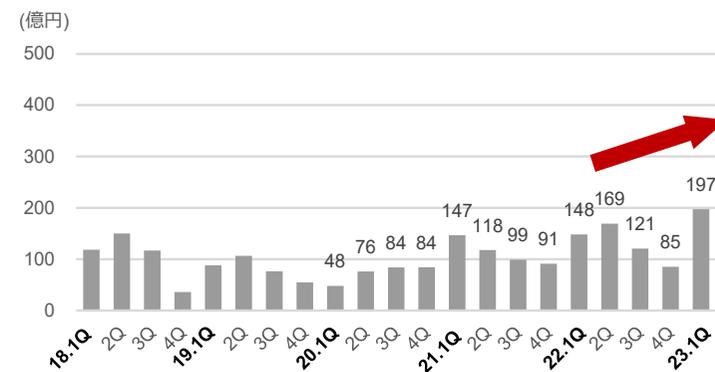
EMEA



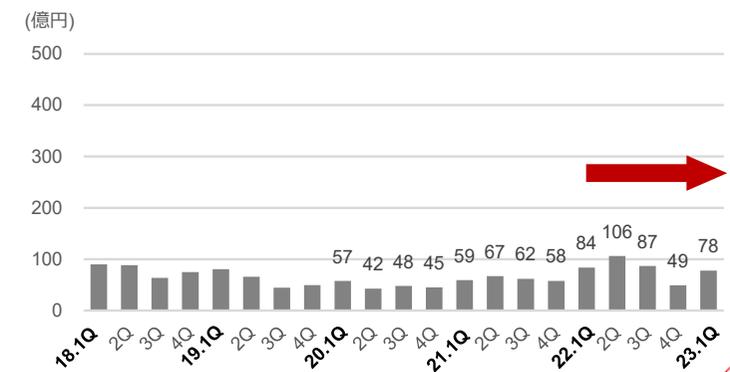
米州



中国



アジア

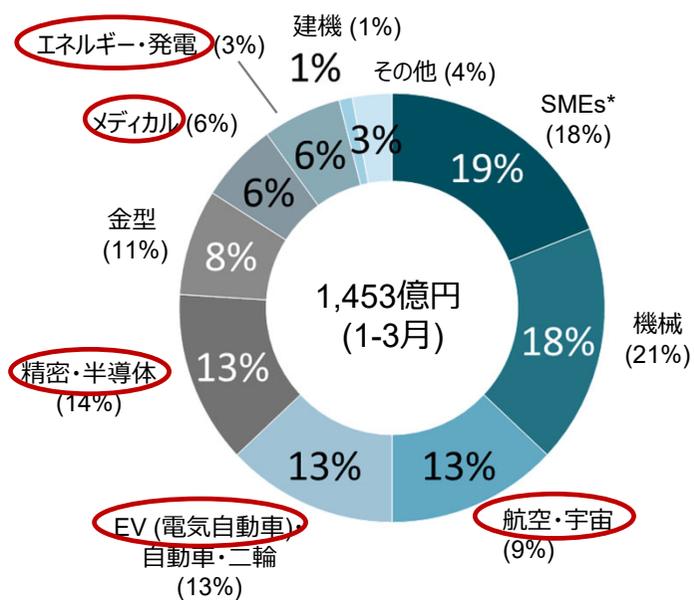


連結受注構成 (1月-3月)

- ・ エネルギー、航空・宇宙、EV関連が好調。半導体製造装置関連も堅調
- ・ 大手、中堅企業は設備投資を継続。中小企業もオペレーター不足を背景に、工程集約・自動化投資を検討

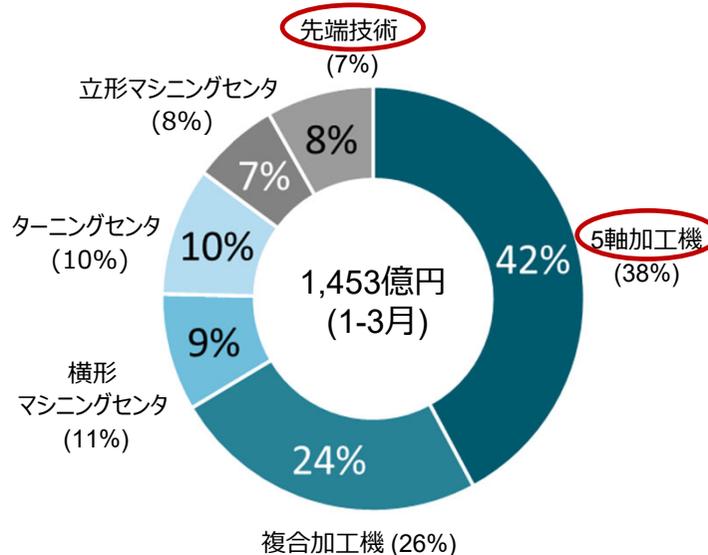
※金額ベース
※カッコ内：2022年1-12月

業種別

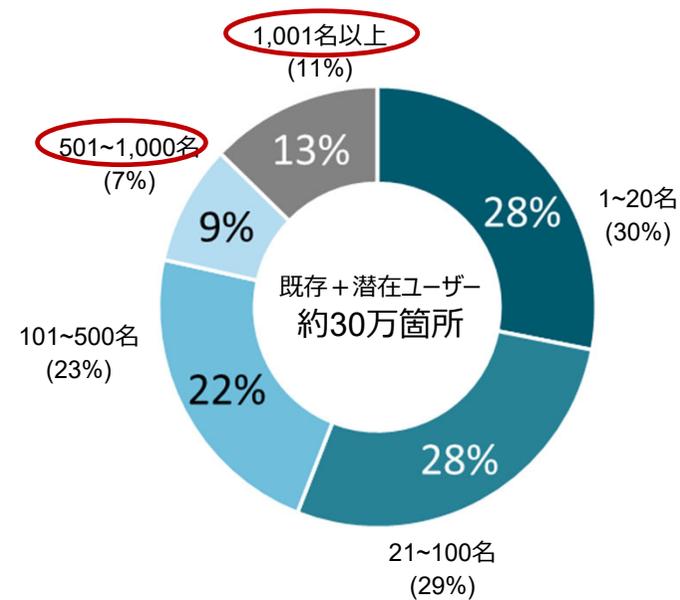


*Small and medium-sized enterprises

機種別

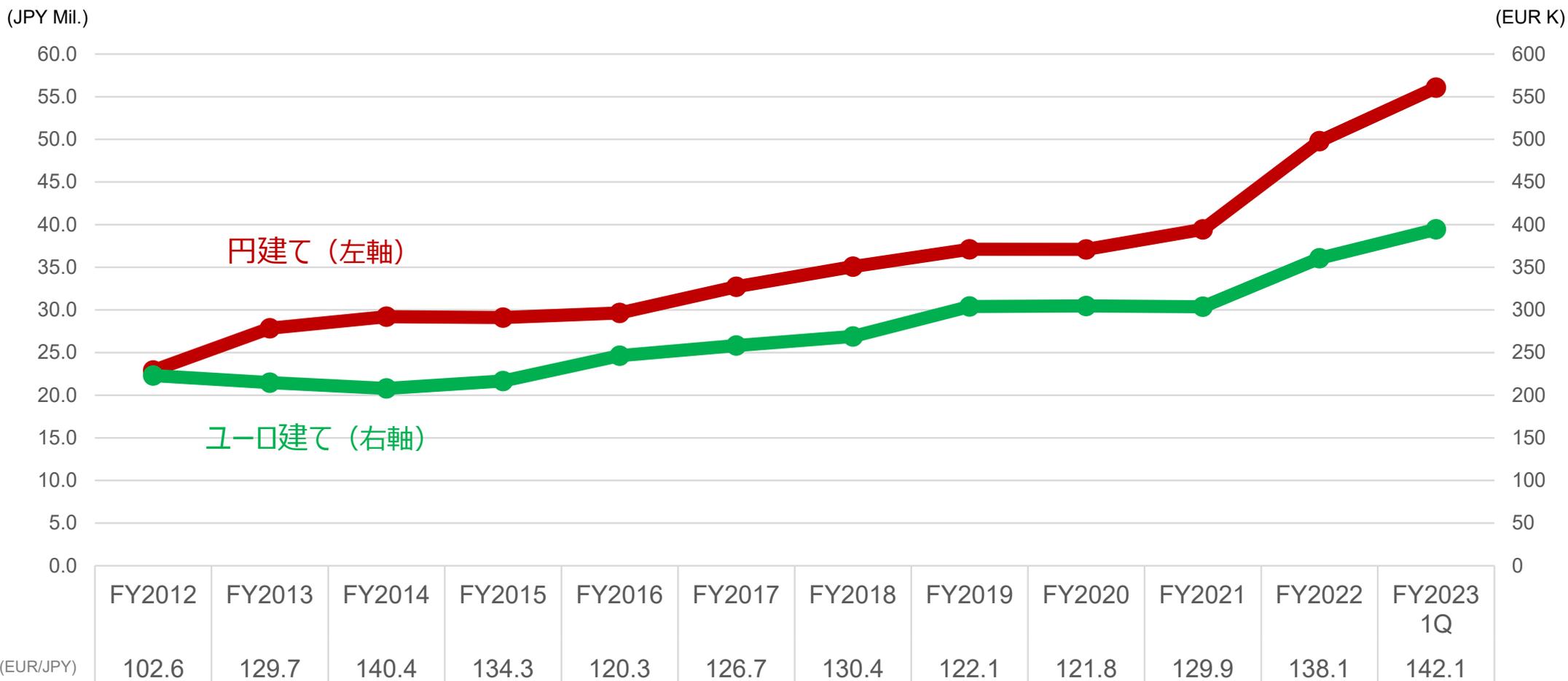


規模別



1台あたりの機械受注単価推移

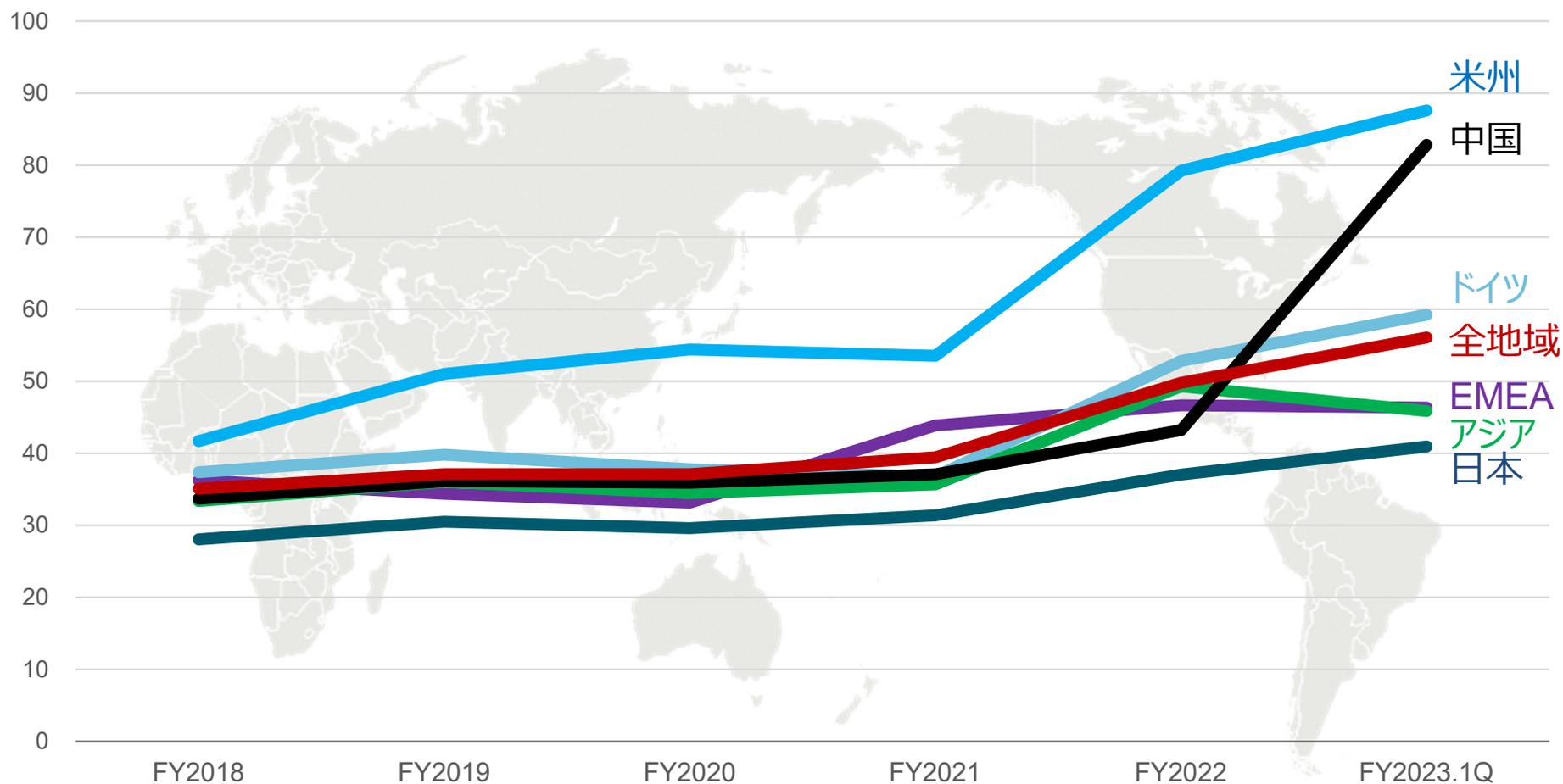
- 2023年度1Qの受注単価は 56.1百万円 へ大きく伸長 (2022年実績 : 49.8百万円)
- MX (工程集約、自動化、DX化、GX化) 推進により提供価値の向上と値引率低減が寄与



1台あたりの機械受注単価推移：地域別

- 米州、ドイツは工程集約機 + 自動化・DX化により受注単価高水準
- エネルギー関連、宇宙・航空機向け中大型機の需要増も受注単価増に寄与

(百万円)



1.2023年度第1四半期(1-3月)決算概要

2.事業環境

3.2023年通期業績見通し

4.グローバル・マーケティング

5.MX（マシニング・トランスフォーメーション）の進展

6.ESG / CSR進捗

2023年12月期 通期業績計画

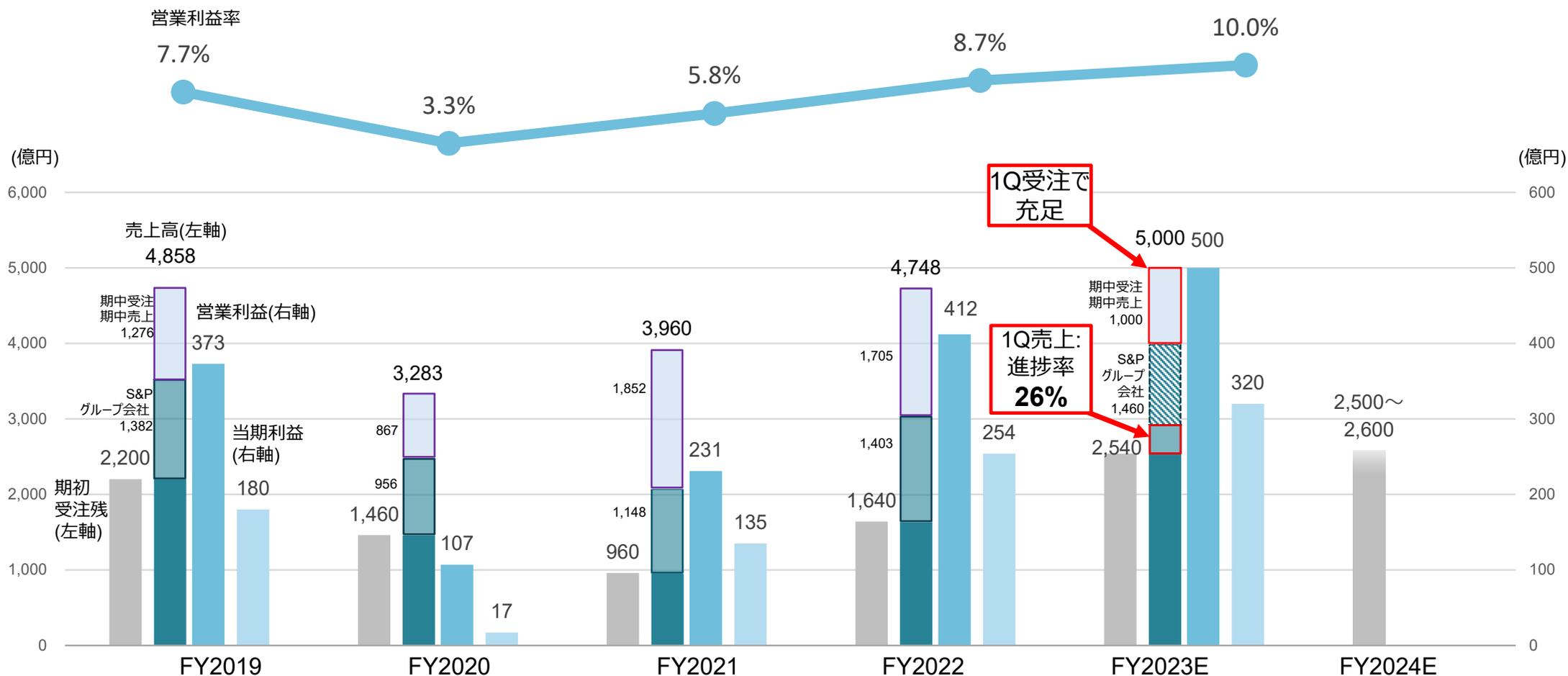
DMG MORI

- 期初計画から変更なし。第1四半期の受注増から、期初計画の達成確度向上
- 前年度に続き、売上、営業利益はピーク利益更新見込み。営業利益率10%以上計画

(億円)	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2022年		2023年	
				実績	YoY (%)	計画	YoY (%)
連結受注	4,094	2,797	4,560	5,424	+18.9%	5,000	-7.8%
売上収益	4,858	3,283	3,960	4,748	+19.9%	5,000	+5.3%
営業利益	373	107	231	412	+78.7%	500	+21.3%
営業利益率	7.7%	3.3%	5.8%	8.7%		10.0%	
当期利益	180	17	135	254	+88.7%	320	+26.0%
1株当たり当期利益 (円)	138.64	3.40	91.75	188.62		240.95	
配当金 (円/株)	60	20	40	70		80	
償却費(リース含む)	231	241	219	240		270	
設備投資額	212	201	233	411		350	
USD/JPY	109.1	106.8	109.8	131.5		130	
EUR/JPY	122.1	121.8	129.9	138.1		140	

2023年12月期 売上構成計画

- 期初計画の期中受注・期中売上の1,000億円は、第1四半期でほぼ充足。安定部門のサービス・補修パーツ、グループ売上也計画通りに推移
- 第2四半期以降の受注は、来年度以降の売上に寄与。今年度末の受注残は、前年度末と同水準の2,500-2,600億円を計画



1.2023年度第1四半期(1-3月)決算概要

2.事業環境

3.2023年通期業績見通し

4.グローバル・マーケティング

5.MX（マシニング・トランスフォーメーション）の進展

6.ESG / CSR進捗



JAPAN Tour 繼續開催

DMG MORI



国内 DMG MORI ACADEMY開所（浜松、4月26日）：全国5か所に新設

DMG MORI



👍 国内各所に順次オープン予定



金沢（5月）



仙台（8月）



岡山（2024年）

福岡（2024年予定）



1.2023年度第1四半期(1-3月)決算概要

2.事業環境

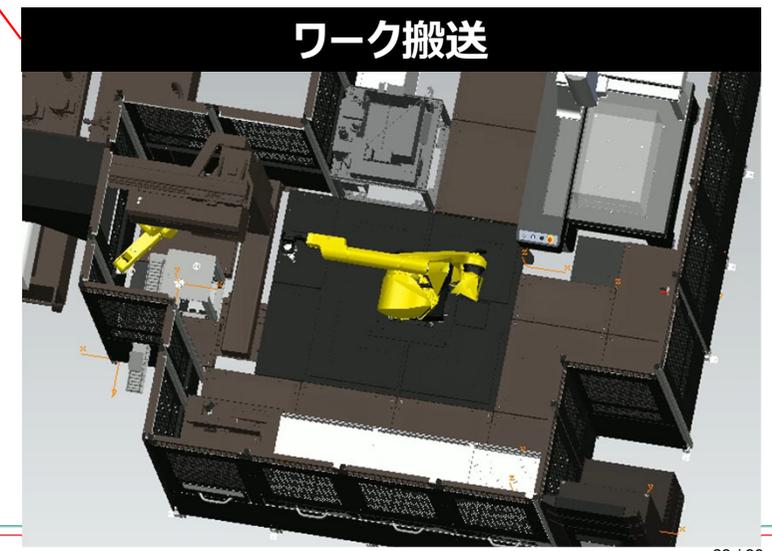
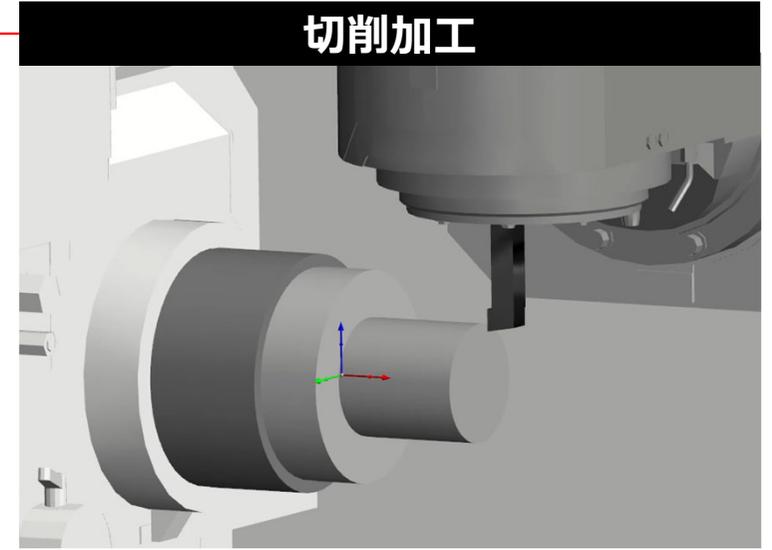
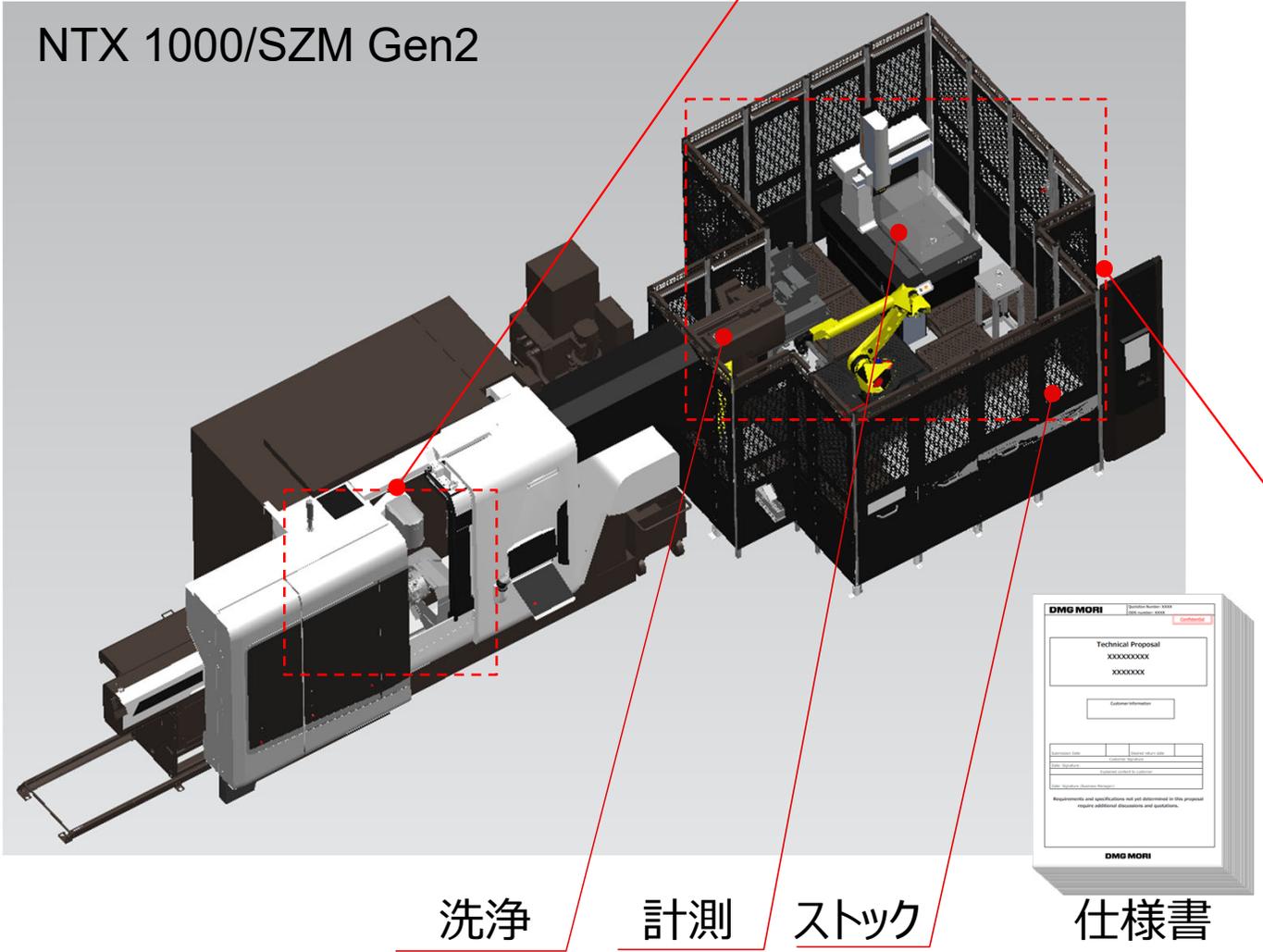
3.2023年通期業績見通し

4.グローバル・マーケティング

5.MX（マシニング・トランスフォーメーション）の進展

6.ESG / CSR進捗

NTX 1000/SZM Gen2



同時5軸加工のコンパクトマシン「DMU 40」



自動化

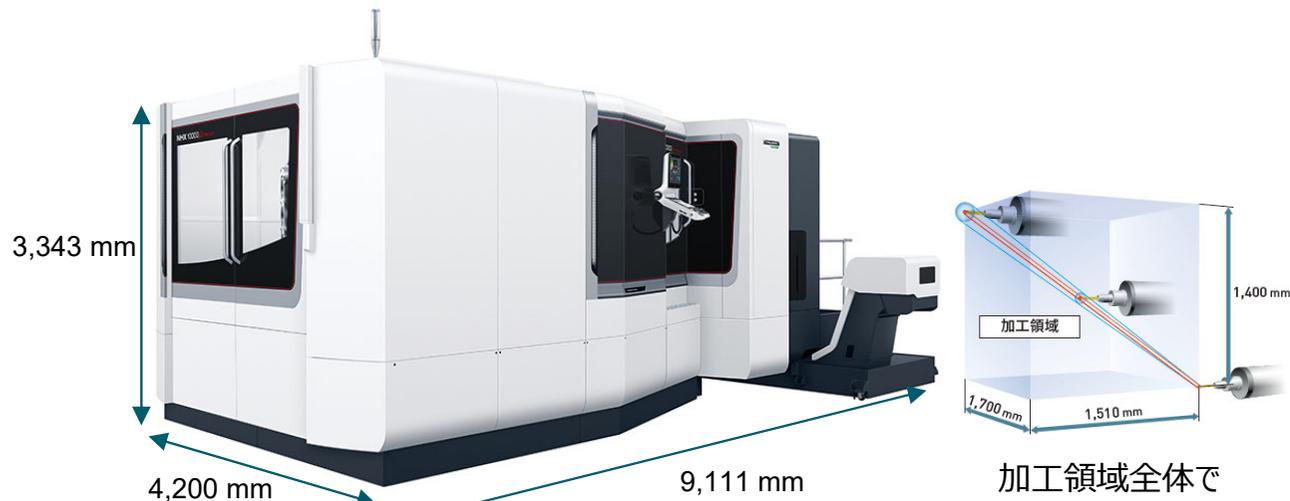
Robo2Go Milling



PH150



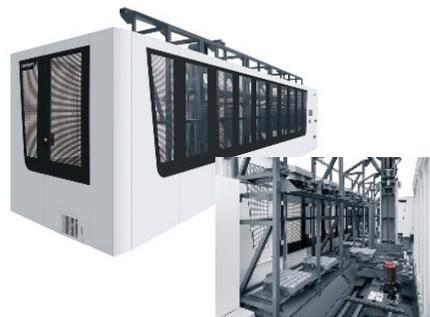
超高精度、大型横形マシニングセンタ「NHX 10000 *μPrecision*」



加工領域全体で
空間精度 **15 μ m以下**
世界最高峰の空間精度

自動化

LPPシステム



CPPシステム



1.2023年度第1四半期(1-3月)決算概要

2.事業環境

3.2023年通期業績見通し

4.グローバル・マーケティング

5.MX（マシニング・トランスフォーメーション）の進展

6.ESG / CSR進捗

健康経営の取り組み①：ホワイト500に初認定

DMG MORI

✔ **初めての申請で、ホワイト500(健康経営優良法人2023)認定を取得。** (2023年3月8日)



▶特設サイト：<https://www.dmgmori.co.jp/sp/health/>



社内フィットネスジムでの体力測定、運動指導の様子

*「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です

✔ **今後も、経営層から従業員まで1人1人が、健康経営に取り組んで参ります。**

今後の重点課題

1. 安全衛生センターを設立。(2023年1月～)
2. サプライチェーンも含めた、健康経営支援を始める※
3. ワークエンゲージメントの向上を図る。

関連) DMG 森精機 パートナーシップ構築宣言
<https://www.dmgmori.co.jp/corporate/sustainability/esg/partnership.html>

健康経営の取り組み②：社員の生産性向上、効率的な働き方が定着

☑ 「有給休暇取得率が高い会社」1位にランキング (2021年基準。3年平均取得率)

■ 有給休暇取得率ランキング (1~49位)

順位	社名	3年平均取得率 (%)	2021年度取得率 (%)	3年平均付与日数 (日)	業種
1	DMG森精機	109.4	94.4	19.8	機械
2	トヨタ車体	101.3	112.6	19.4	輸送用機器
3	クボタ	100.8	100.9	19.6	機械
4	ホンダ	100.4	99.0	18.7	輸送用機器
5	エイチワン	99.3	107.9	19.4	金属製品
6	コマツ	99.2	99.5	20.0	機械
7	豊田自動織機	98.5	101.0	19.4	輸送用機器
//	テイ・エス テック	98.5	99.4	19.2	輸送用機器
9	関西電力	96.6	97.1	19.8	電気・ガス業
10	デンソー	96.5	91.6	20.0	輸送用機器
11	アイシン	96.4	92.4	19.6	輸送用機器
12	京浜急行電鉄	96.0	95.1	18.4	陸運業
13	ゆうちょ銀行	94.8	97.1	20.0	銀行業
14	オリエンタルランド	94.7	111.1	19.1	サービス業
15	ダイキン工業	94.3	95.8	21.2	機械

⋮

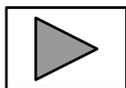
出典：東洋経済新報社「CSR企業総覧（雇用・人材活用編）2023年版」



☑ 日本：伊賀事業所で2月より発電開始*

☑ 欧州：独フロンテン工場で2022年11月より発電開始*

*ともに第1期工事分



日・欧とも、年間電力総需要の約**3割**を自給する計画



伊賀事業所

設置面積

約**130,000**m²
(全工事完了時の計画)

パネル容量

約**13.4**MW

CO₂排出削減量

約**5,300**トン/年



独・フロンテン工場

- フロンテン、ゼーバッハ、シュティプスハウゼン（以上、独）、プレシエフ（ポーランド）で拡張・新規設置

(動画内) 国内最大の太陽光パネル：自家消費型オンサイト太陽光発電に関する公開情報より当社調べ

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。

これらの将来に関する記述は、

当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。

今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 当グループが営業活動を行っている市場内における需要環境の変化
- 為替相場の変動
- 当グループが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当グループが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法や輸出管理規制等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更
- COVID - 19に関する日本国及び諸外国の渡航又は自宅待機規制の動向